

一般質問

今定例会における一般質問は、9月1日・2日の2日間にわたり行われ、9人の議員が市政全般に関する諸問題について市の所信をただしました。内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

市政を問う!!

権田 昌弘 議員 (7ページ)
○本市の子育て支援策について

向井 誠 議員 (8ページ)
○リトルベビーハンドブックについて
○サニタリーボックスについて
○公立学校の老朽化について

松本 隆志 議員 (8ページ)
○物価高騰に対する事業者支援の方向性について
○発達障がい者に対する支援の取組について

森田 武雄 議員 (9ページ)
○本市の部活動の現状について
○教職員の部活動指導の現状について
○本市の部活動参加に係る保護者の経済的な負担軽減について
○休日の部活動の地域移行について

平井 玲子 議員 (9ページ)
○障害者手帳アプリ「ミライロID」の導入について
○不妊治療と仕事の両立支援について

齊藤 貢一 議員 (10ページ)
○まちづくりへの課題について

篠木 正明 議員 (10ページ)
○茂林寺前駅西側地区の住環境整備について

吉野 高史 議員 (11ページ)
○市長就任から1年5か月が経過したが、見えてきた多くの課題と一向に見えてこないビジョンについて

小林 信 議員 (11ページ)
○190回目最後の一般質問、館林市のまちづくりビジョンについて

※一般質問通告書の質問事項を掲載



本市の子育て支援策について

権田 昌弘 議員



質問 市長の言う「投資」とは、具体的にどこに投資するのか。

答弁 ハード面では、産業団地の新規造成等により、税込確保、雇用の創出を促進し、ソフト面では、「こども局」の設置、そのほか、スポーツ環境の整備を進めることも投資の一つです。

質問 子どもたちへの支援が、市全体に拡がるという考えはあるのか。

答弁 そういった投資を今後とも検討していきます。
質問 支援をする上での所得制限に関する考えは。
答弁 子どもをはじめ、障がい者、高齢者など、「人によさしい」施策が展開で

きるよう、精力的な「投資」を検討していきます。

質問 給食費について、段階的に無料化を進めるとの考えも理解しています。中学生という枠組みでの無料化を進めることがよいと思えますが、どう考えるのか。

答弁 無料化を拡大することとは、将来の館林を担う子どもへの投資とも言えます。いくつかの枠組みにおいて検討し、無料化に伴う事務負担や財源の課題など精査していきます。

質問 危険箇所の改修ができれば、利用価値が上がります。大会誘致や経済効果も得られると思うが、城沼陸上競技場の改修について、どう考えるのか。

答弁 まずは、緑石部分の段差解消などに向けて取り組んでいきます。
質問 今年度より設置する「制服検討委員会」の現状はどうなっているのか。
答弁 生産メーカーや紳士服メーカー等から情報収集を行うとともに、本市すべ

での中学生へアンケート調査を実施し、保護者の負担軽減も視野に入れ、慎重に協議していきます。

質問 部活動「地域移行」による保護者の金銭的負担について、どう考えるのか。
答弁 保護者の経済的な負担軽減を念頭に、部活動の地域移行について、十分に調査・研究していきます。

